

受賞技術	鋼橋の疲労き裂に関する近接目視点検教育システム
------	-------------------------

技術開発者	東京都市大学 関屋 英彦
-------	--------------



受賞にあたって

このたびは、「鋼橋の疲労き裂に関する近接目視点検教育システム」に対し、名誉ある国土技術開発賞「優秀賞」を頂きまして、誠にありがとうございます。

私は、センサ技術やデータ分析技術を活用したインフラ構造物の維持管理に関する研究に取り組んでおり、その多くは損傷の診断や補修・補強方法の立案に関する研究です。しかし、まずは「現場」にて「損傷を適切に見付ける」ことが重要であると感じておりました。その点、本システムは、現場の点検教育に貢献できるシステムとなっております。今後も、現場中心の技術開発を進めていきたいと考えております。

本システムの開発にあたり、ご協力くださった関係者の方々に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

受賞後の動き

現場点検をより忠実に体験できる点検訓練シミュレーターを開発したいと考えております。また、損傷・構造形式の種類を増やす等によって、更なるシステムの高度化を目指したいと考えています。